

人間ドック受診者の種々の骨格筋指標の相関について

京都田辺中央病院では、京都府立医科大学と連携し今回の検査結果を利用し下記の臨床研究をあらたに実施しています。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査および京都田辺中央病院の倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

日本整形外科学会が提唱するロコモティブシンドローム（ロコモ）とは、筋力低下や疼痛により移動機能が低下した状態を指します。移動機能の低下を早期に発見することは健康寿命延伸のために重要です。

京都田辺中央病院の人間ドックでは、骨格筋量、筋力、ロコモに関するアンケートを実施しており、これらのデータを基に、身体計測や種々の骨格筋指標とロコモの重症度との相関を明らかにすることが本研究の目的です。

研究の方法

対象となる方について

京都田辺中央病院で人間ドックを受けられた方

研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から 2025年12月31日

方法

京都田辺中央病院で人間ドックを受けられた方で、検査結果、アンケートより以下の情報を取得します。

研究に用いる試料・情報について

治療に必要な診察や検査は担当医師の指示に従い通常診療の範囲内で受けていただきます。この研究では診療に際し行われたこれらの診察や検査に関わる既存情報のみを利用させていただきます。

個人情報の取り扱いについて

患者さんの検査結果をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、

患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都田辺中央病院 整形外科部長 國友泰輔）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

情報の保存および二次利用について

得られた医療情報は原則としてこの研究のために使用し京都田辺中央病院および京都府立医科大学整形外科において、研究終了報告日から5年又は研究結果の最終公表日から3年又は論文等の発表から10年のいずれか遅い日まで保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な試料・情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者：京都府立医科大学 大学院医学研究科 運動器機能再生外科学
教授 高橋謙治

研究担当者：京都府立医科大学 スポーツ・障がい者スポーツ医学 学内講師 中川周士

研究担当者：京都府立医科大学 大学院医学研究科 運動器機能再生外科学
助教 大久保直輝

研究担当者：京都府立医科大学 大学院医学研究科 運動器機能再生外科学
大学院生 瀬谷崇

個人情報管理者：京都田辺中央病院 整形外科部長 國友泰輔

共同研究機関：京都田辺中央病院

研究責任者：京都田辺中央病院 京都田辺中央病院 整形外科部長 國友泰輔

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都田辺中央病院 整形外科部長 國友泰輔

電話番号：0774-63-1116、e-mail：crane@sekitetsukai.or.jp

受付時間：平日 10：00-16：00